



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会 2012年（平成24年）7月25日号 No. 1568

目次

■ ウラジオストクAPECまで1ヵ月	齋藤 大輔 1
■ トピックス	8
矢崎総業がロシア企業を買収／8	
日本貿易保険、ロシア石炭企業を支援／8	
境港と韓ロを結ぶDBS貨客船が就航3周年／8	
極東・東シベリアで鳥取産果物販売／9	
ロシア、8月23日にWTO加盟国に／9	
ロシアの新たな民営化方針／9	
■ エトセトラ	10
『調査月報』2012年8月号のご案内／10	

ウラジオストクAPECまで1ヵ月

ロシアNIS経済研究所 研究主任
齋藤 大輔

さあ、いよいよ本番へ

さあ、いよいよロシア・ウラジオストクでのAPECサミットが1ヵ月後に迫ってきた。会場施設や橋などインフラの完成の遅れが心配されていたが、なんとかほぼすべて完成し、開催が確実な状況になってきた。

7月、ウラジオストクと沖合のルースキー島を結ぶ橋が完成し、「ウラジオストクの日」の2日、メドヴェージェフ首相が出席して開業式典が橋の上で行われた。高さは320mに上り、2本の主塔間の距離は1,104mと斜張橋としては世界一となる。その姿はアジア太平洋に成長の軸足を移したロシアのシンボルとなるものである。メドヴェージェフ首相は「橋は立派で、美しく、ウラジオストクのシンボルだ」と絶賛した。

そのルースキー島では、9月にAPEC（アジア太平洋経済協力会議）の首脳会議（サミット）が開かれる。昨年11月に米国から議長国のバトンを受けて以来、カザンでの貿易担当大臣会合（6月）、サンクトペテルブルグでのエネルギー担当大臣会合（6月）、ハバロフ